

## 手洗い金具からの水が止まらない 洗浄させたら便器内に多量の水が流れ続ける

### ✓ 対象品

大便器全般

### ✓ 原因

まずは、便器洗浄レバーハンドルについている玉鎖が外れて排水する弁に挟まって止水できない可能性がありますので、一度タンク内の玉鎖の状態をご確認ください。

玉鎖が外れていない場合は、他の要因ですでお手数ですが取り付け業者様もしくはTOTOメンテナンスへご連絡願います。

### ✓ 確認開始、その前に

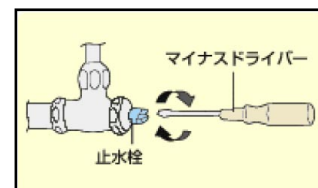
#### ●トイレの止水栓を確認しましょう。

状況を正しく確認し、確実に作業を行うためにまず止水栓（元栓）を確認します。

#### ●トイレの止水栓を閉めましょう。

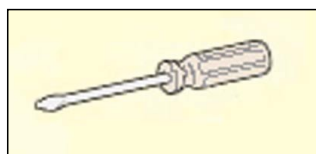
右図のように止水栓をマイナスドライバーなどで閉めてください。（時計回りにまわします）

▲重要!：詳細は本PDF内「止水栓の閉め方」をご覧ください



### ✓ 使用する工具

マイナスドライバー



### ✓ 確認開始

#### STEP 1 タンク内を空にします

一度レバーハンドルを廻して洗浄してください。（タンク内の水がなくなる）

#### STEP 2 タンクの蓋を外して、中を確認します

タンクの蓋（陶器製）と樹脂タンク蓋を外してタンク内を見てください。

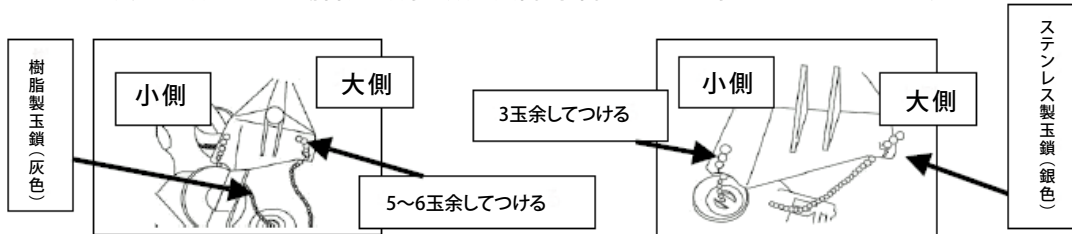
※陶器タンク蓋はゆっくりと真上に上げてください。陶器製の蓋を外す場合は、落下させたり硬いものに当たったりすると破損して怪我をする可能性がありますので十分注意してください。

### STEP 3 玉鎖を調整します

大側と小側を間違ないように取り付けてください

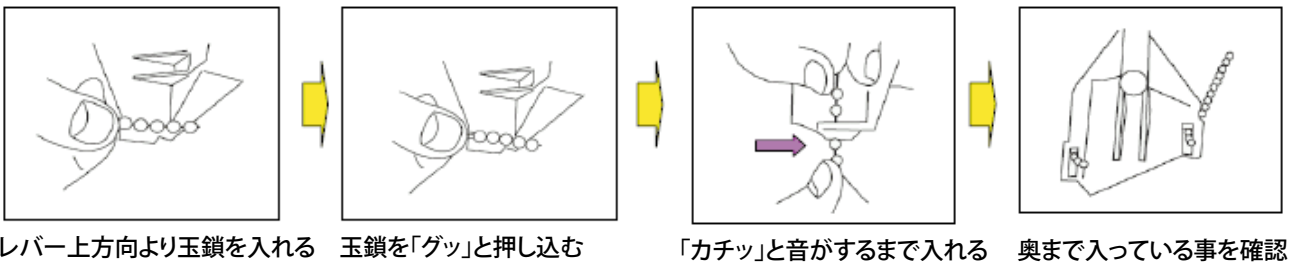
樹脂製の玉鎖を止める場合、玉鎖余り数は大側・小側とも5～6玉を余してつけてください。

ステンレス製の玉鎖を止める場合、玉鎖余り数は大側・小側とも3玉を余してつけてください。



※玉鎖には品番によって樹脂製とステンレス製の2種類があります

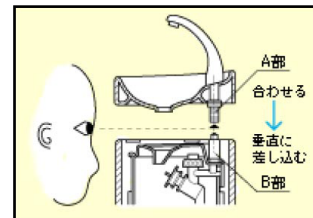
<取り付け要領>



### STEP 4 タンクのふたを閉めます

不具合が解消できましたら樹脂タンク蓋・陶器蓋をキチンと被せてください。

手洗い付は右図のようにタンク本体の手洗い管と陶器蓋の手洗い金具をキチンと差し込んでください。



タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込みなおしてください。

### STEP 5 止水栓を開け、洗浄確認をします

止水栓を開けて（反時計回り）タンク内に貯水後洗浄確認をしてください。その際に漏水確認をしてください。

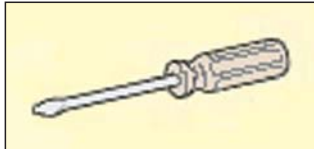
特に手洗い金具と手洗いチューブ管の接続部を確認ください。

※玉鎖を調整しても不具合が解消しない場合は、取り付け業者様が当社メンテナンスへ連絡願います。

## 止水栓の閉め方

### ✓ 使用する工具

マイナスドライバー



### ✓ 止水栓の閉め方

#### STEP 1 止水栓の位置を確認します

止水栓は、タンクへの給水管に付いています。下の図を参考に、位置を確認してください。

タンク密結形便器の場合



ワンピース便器の場合



ウォシュレットが付いている場合は、ウォシュレット用の止水栓と間違えないようご注意ください。

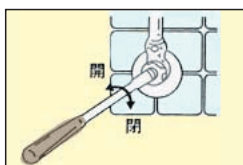
#### STEP 2 止水栓を閉めます( 止水栓はマイナスドライバーで右(時計まわり)にまわすと閉まります。)

止水栓が見当たらない場合は

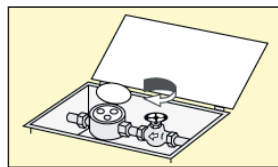
タンクまわりに止水栓が見当たらない場合は、家屋全体の元栓で閉めます。

元栓は水道メーターの近くに付いていますが、場所や形は種類や新旧によって違います。

いずれも右にまわすと閉まります。

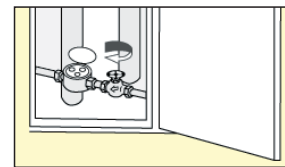


戸建住宅の場合



宅地内の地面にあります

集合住宅の場合



玄関横のパイプシャフト内にあります

#### STEP3 修理が終わったら止水栓を開けます